

「キャリア権」の実現のために  
—ひとづくり地域戦略会議で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 先週から今週にかけて栃木県内の山の景色が非常に美しいですね。山がよもぎ色からだんだんと緑が濃くなっていくこの瞬間が栃木県の美しさ、日本の美しさの一つだと私は思います。このようなよいところに住んでいて本当によかったなと思います。
3. 今日は、4月23日月曜日に、東京の霞ヶ関にある経済産業省 サービス政策課が中心になって行われました「ひとづくり地域戦略会議」に招かれて発言しましたので、そのお話をさせていただきます。場所は経済産業省の地下2階大講堂で、全国から170名ぐらいの皆さんが集まって、各地の企業や学校、自治体の方々が「今と未来を見据えた採用活動はどのようにあるべきか」という議論をいたしました。思いのこもった採用活動・就職活動を実現するためには、関係者が地域を越えて広く連携をし、情報交換をし、意見交換をすることの重要性をそこで痛切に感じました。
4. 私はキャリア権のお話を第一番にいたしました。自分自身の力で自分のキャリアを形成することは、職業選択や勤労、幸福追求の基本です。日本国憲法では職業選択の自由や勤労の権利、幸福追求権が規定されています。それらの前提として、自らのキャリアを自分自身で形成する権利を日本国民一人ひとりがもっていると私は考えます。それを「キャリア権」と考えています。そこで、私は、「キャリア権」を新しい基本的人権(新しい人権)の一つとして促進すべきであるという訴えをしました。
5. OECD(経済協力開発機構)では、よりよい暮らしの指標をベター・ライフ・インデックス(Better Life Index)と称し、全部で11の指標を出しています。その中に収入や雇用、社会との繋がりという意味での共同体、また、教育、生活の満足度、ワークライフバランスなどが入っています。これらはすべて仕事に就くことやキャリア形成に関するものだと私は思っています。ですから、よりよい暮らしをする上でも就職や雇用は大事だと思います。そして、国際競争力のある地域づくりをするにはひとづくりを戦略的に行うこと、つまり、地域が戦略的にキャリアの形成を支援して「キャリア権」の実現を図ることだと考えると、その会議でお話させていただきました。
6. 「キャリア権」とは何かについては、あまり聞いたことのない方が多いのではないかと思います。私は、この「キャリア権」について高井・岡芹法律事務所が主催なさっておられる「キャリア権研

研究会」で法政大学大学院政策創造研究科の諏訪先生から勉強させていただきました。その研究会には数多くの素晴らしい方々が集まり勉強しています。この「キャリア権形成研究会」で、私は多様なキャリア形成を尊重して支援をする企業や地域をつくり出すことがこれからの日本社会の発展のために大切だと痛切に感じました。

7. では、一人ひとりの「キャリア権」の形成を支援するために、私の関係する団体では具体的にどのような取り組みを行っているか御紹介いたします。東京にある公益社団法人経済同友会の「学校と経営者の交流活動推進委員会」では、学校の要請で中学校や高等学校へ年に 200 回ぐらい企業経営者が無料で出張授業に行き、仕事とは何かや働くことの意味などについて経営者の立場でお話をしています。群馬経済同友会でも同じような取り組みをしまして、非常に好評です。また、公益社団法人栃木県経済同友会には、大学や短期大学、大学院の正規の授業に企業経営者を、オムニバス、つまり交替で、ボランティア・プロフェッサーの講師として派遣するプログラムがあります。これも非常に好評です。また、栃木県経済同友会では、外国人留学生の企業訪問バスツアーを行ったり、外国人留学生に対する就職説明会も行ったりしていて、これも非常に好評です。社団法人栃木県経営者協会では、毎年、何回か就職支援セミナーを行っています。私も先日そこでお話をさせていただきました。また、インターンシップ、学生が企業に出向いて行って職場体験をするという受け入れも積極的に行っています。更に、私の住む足利市の商工会議所では、「足利 5S 学校」というものを開催しています。5S というのは、整理・清掃・整頓・清潔・躰のことで、工場や様々な企業、団体で盛んに行われています。足利市ではこの 5S を小学生や中学生、高校生などの学校に行っている方にも大いに勧めているのです。また、大学生や短大生、専門学校の学生さんにも 5S、整理・清掃・整頓・清潔・躰を広めようという活動もしています。もしかしたら来年ぐらいから大学の授業の一貫として、5S についての取り組みも紹介されるのではないかとのお話もお聞きしています。昔は、「論語」と「そろばん」が仕事をする上で大事だと言われていました。これからは、「論語」と「そろばん」に加えて「5S」も就職活動に役に立つのではないかと秘かに思っています。

8. 中間社員のキャリア形成支援のために、産業界と宇都宮大学大学院と白鷗大学大学院、作新大学大学院とが協力をして「とちぎ MOT プログラム」、MOT というのは技術経営のことですが、このプログラムが一昨年からスタートしました。前期、後期と 90 分 15 回のエッセンシャルコースが年に 2 つあり、今年度からはアドバンスコース、上級コースができました。とちぎ MOT プログラムでは 3 つの本格的な MOT コースをスタートさせて宇都宮大学大学院工学研究科で行っています。私もこのコースの発信者の一人として、コースの企業立案とコーディネーター、講義を担当する講師をしています。このように、キャリアの形成について地域社会が非常にやさしく協力するという取り組みも栃木県では盛んに行われていますので、御紹介させていただきました。

9. 今日は、先日経済産業省の地下 2 階大講堂で行われました「ひとづくり地域戦略会議」で私が発言させていただいた内容を御紹介させていただきました。ぜひ皆さんもひとづくりを積極的に行き、これからの人材育成に対して協力をいただければ有難いなと思います。

— 2012 年 11 月 22 日、林明夫記 —